

事業主体名		浦添市					
令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート							
事業名	「古琉球・近世琉球」周遊促進事業				担当部課名	観光振興課	
					認定市町村名		
広域性要件または先導性要件の該当有無	☒	広域性要件	現年事業または繰越事業	☒	現年事業	事業実施(予定)年度	令和元～3年度
	☐	先導性要件		☐	繰越事業		
事業内容	首里城焼失に伴い、首里城に代わる集客施設への誘客や受入体制の整備を広域的に行うため、世界文化遺産「識名園」や天然記念物「大アカギ」等の近世琉球及び日本遺産の構成文化財である「浦添城跡」等の古琉球を味わたる周遊ルートの策定や誘客・PRを行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R4年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	当初予算額	16,615	0	8,000		
		増減額	0	0	0		
		予算現額	16,615	0	8,000		
		前年度から繰越	0	16,615	0		
		翌年度へ繰越	16,615	0	0		
		計	0	16,615	8,000		
	執行済額		0	16,612	8,000		
	うち補助金充当額		0	13,290	6,400		
	不用額		0	3	0		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明		R1年度に共同事業実施主体の那覇市との調整に不測の日数を要したため、R2年度への繰越が必要となったが、R2年度以降は、計画通りに予算を執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	周遊ルートの磨き上げ	目標	(周遊ルート策定)	()	(周遊ルートの磨き上げ)	()	
		実績	3本の周遊ルート策定		3本の周遊ルート磨き上げ完了		
	周遊ルートの観光商品化	目標	()	()	(周遊ルートの観光商品化)	()	
		実績			6個の観光商品化		
達成状況説明	R2年度に策定した3つの周遊ルートを「周遊を仮定して回りやすいコース設計とする」、「3つのモデルコースのコンセプトとの一貫性」という2つの視点で磨き上げた。また、モデルコースの観光商品化にあたっては、「古琉球・近世琉球」の歴史を感じる商品、利用者のターゲット像を想定した商品化、気軽に参加できる短時間で楽しめるコンテンツ、新たな生活様式への配慮という観点で行い、6件の観光商品を作成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	浦添市「古琉球」関連施設への来訪客数のうち、那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設への来訪客割合	目標		()	(ルート策定時に現状地を把握し、設定する。)	()	(70%)
		実績	47.9%		現状値を把握し、設定した。		51%
	成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設への来訪客数のうち、浦添市「古琉球」関連施設への来訪客割合	目標		()	(ルート策定時に現状地を把握し、設定する。)	()	(60%)
		実績	41.3%		現状値を把握し、設定した。		37%
進捗状況説明	・後年度目標値(R4年度)検証のため、那覇市と共同で両市の関連施設にて、アンケート調査を実施。本市「古琉球」関連施設への来訪客数のうち、那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設への来訪客割合51%、那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設への来訪客数のうち、本市「古琉球」関連施設への来訪客割合37%という結果であった。						

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・R3年度と比較し、本市の「古琉球」関連施設の認知度向上を図ったが、令和4年度途中までコロナ禍の影響等もあり、来客数が当初想定していた人数よりも大幅に減少したため、目標値へは未達となった。 ・本市の「古琉球」関連施設にて開催のイベントへの来訪が主目的であることが多かった。	・各「古琉球」関連施設で開催のイベントに合わせて、本市の別施設や那覇市「古琉球」関連施設への来訪を促す企画やキャンペーンを組むことで、両市双方の施設の認知度向上や本事業における周遊ルートやモデルコース、着地型観光商品の誘客促進を狙っていく。
今後の取り組み方針		
・コロナ後を見据え、今年度観光商品化したモデルルートの商品販売についてのノウハウを（一社）浦添市観光協会に蓄積し、継続して販売できる体制を構築する。 ・「古琉球」関連施設の認知度向上を図るため継続したプロモーションで本市への来訪を促すとともに、幅広いジャンルで着地型観光商品を造成し、本市に来訪された観光客の観光満足度、消費額の向上を目指す。 ・各施設独自の開催イベントに併せて、本事業の目的である「古琉球」関連施設の歴史的魅力的プロモーションや両市双方の施設への誘客を図る為、各施設と連携しながら継続的なプロモーションやトレンドに合わせた着地型観光商品の造成を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>補助対象事業費</th><th>補助金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>補助対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,000</td><td>8,000</td><td>6,400</td><td>1,600</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費	8,000	8,000	6,400	1,600	0
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費										
8,000	8,000	6,400	1,600	0										
浦添市 8,000千円 → 委託料 8,000千円 → 株式会社リクルートライフスタイル沖縄 8,000千円 「古琉球・近世琉球」周遊促進事業に係る周遊ルート構築及び観光商品造成化 委託業務														

資金の流れ、費目・点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算は事業者からの見積りを基に積算しており、予算規模は適切であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については、実績報告時に検査を実施し、必要なものであると判断した。